

事務事業名	掛合総合センター・交流センター整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課	
総合計画体系	政策名	〈 I 〉みんなで築くまち〈 協働・行政経営 〉	所属G	財産管理監視G	課長名	須田 弘
	施策名	〈 05 〉時代に合った行政サービスの実現	担当者名	藤原典裕	電話番号	0854-40-1025
	目的	行政機能	意図	公平で効率的なサービスを提供する。	(内線)	2372
	基本事業名	〈 015 〉市民に親しまれる窓口サービスの提供	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	庁舎施設整備事業	
目的	行政機能	意図	市民に親しまれる窓口をつくる。	項 目 中事業 中事業名	庁舎施設整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度 ~ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
掛合総合センター及び掛合交流センター等の老朽化した公共施設について、複合施設として整備する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 推進委員会開催回数	回	3	5	0	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	掛合総合センター・交流センター施設	ア 建築面積	m ²	1,264	1,264	1,264	1,264
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
市民が利用しやすい施設を整備する。	ア 事業進捗率	%	1.4	12.5	99.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
消耗品費 700千円	財源内訳	国庫支出金	千円		64,018	
手数料 104千円		県支出金	千円		666	
委託料 5,584千円		地方債	千円		56,900	5,200
工事請負費 508,244千円		その他	千円			
備品購入費 13,485千円		一般財源	千円	7,626	3,038	35,931
負担金 1,098千円	事業費計(A)	千円	7,626	59,938	529,215	5,531
合計 529,215千円	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	246	686	1,293
		人件費計(B)	千円	963	2,721	5,272
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,589	62,659	534,487

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
総合センター整備方針に基づき、複合施設として整備する。整備に際しては住民意見を取り入れ、住民合意のうえ進めている。	平成26年度に総合センター整備方針を策定した。	施設整備に向けては、地元住民より複合施設としての整備を要望されている。

事務事業名	掛合総合センター・交流センター整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業計画に基づく進捗であり、向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	当該施設は市の支所として存続することが決定しており、防災拠点や避難所として指定されていることから、老朽箇所の修繕による継続利用が必要である。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		総合センターについては整備方針に基づき既存公共施設への移転を検討したが、移転先となる適当な施設がなかったことから、新設する交流センターとの複合施設として整備することとなった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要な機能の施設整備のため、事業費についての削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要最低限の費用であり、削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		公共施設整備であることから、公平公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
利用者が見直ししやすい施設となるよう建設推進委員会で、検討を行い、実施設計に反映した。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		●	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		●																		
	低下	×	×																		
平成30年度事業完了に向け、事業を推進する。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			